

どのした淵

【町道・農道払い ご苦勞様でした】

皆様の御協力により、無事作業を終えることが出来ました。暑い中、大変ご苦勞様でした。また、遠方より帰省し御協力いただいた、酒匂和善さん、大平信一さん、ジュニアグループの三腰眺太君、シニアグループの三腰佑昭さん、三腰修一さん御協力ありがとうございました。5班の皆さんも早朝からお疲れさまでした。

今年のスローガン『全員参加で村づくり』が少しでも実践出来たらいいですね！



【秋の全国交通安全運動】

『ルールとマナー 乗せて走ろう 秋の道』をスローガンに実施された運動が30日に終了しました。のぼり旗の設置や、期間中2日間交通安全協会白男川支部の役員として、副会長の栄治君と立哨しました。皆さん事故等無かったでしょうか！

これから日増しに日没が早くなり、視界が悪いく、日ごろから交通安全には十分お気をつけて下さい。

また、収穫期にもなりますので、農機具等の事故にも十分配慮の上、豊かな収穫をお迎えください。



発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

☎ 54-2344

090-1089-9432

10月1日発行



【彼岸講のお勤め】

23日善妙寺から彼岸講にお越しいただきました。彼岸供養に合わせて、お寺を訪れることなく供養が出来るようにとの、善妙寺さんの計らいです。お勤めの後、説法があり数字の兆から上の単位の話がありました。皆さんご存知ですか！兆・京・垓・秭・穰・溝・澗・正・載・極・恒河沙・阿僧祇・不可思議・無量大数だそうです。いずれも仏教用語から取られたものだそうです。

不可思議は、元の朱世傑による『算額啓蒙』において極以上の他の単位とともに初めて登場した。議論することが不可なほど大きな数字、という関係から名づけられた。

無料大数も登場したのは不可思議と同じで、無料数に由来する。属に言う無限であり、不可思議の万倍となる。漢字文化圏で定着している命数法では、最大の数詞である。

億・兆以上の単位については我々の日常にはほとんど関係のない単位ですが、モンゴル帝国の創設者チンギス・ハーンはその単位の資産を保有し歴代世界一だとのことでした。が、ウィキペディアを検索してみると、マンサ・ムーサ（マリ帝国の九代目王）が第1位でチンギス・ハーンは10位となっていました。試算の方法（基準）が色々あるのかもしれませんが。10位までのうち9人は歴史上の人物で、唯一ビル・ゲイツが9位につけておりまして、786億ドルだそうです。いやはや目がくらみます。今夜もしゆいかけめしでばらんなら。

【厚意の寄付金 3, 875円】

この夏初めて取組んだ「どのした淵」活用のため、駐車場にお借りしていた土地に、管理費寄付のお願い看板と募金箱を設置していました。すると思いのほか多くの善意が寄せられていました。(役員会時開錠)

総額3, 875円。秀文さんの厚意に甘えて、全額を公民会の雑入に入れさせていただきました。現在、工事関係者が借用しているので、プレハブを撤去する時は整地・清掃をお願いしてあります。

1台に付き100円以上の寄付をお願いしていたので、少なくとも30台以上は利用があり、1台平均3人の乗車があったとすれば、90〜100人程度は『ひと夏の思い出』を、どのした淵から持ち帰っていたのかと推定します。8月中旬の長雨が無ければ、もっと多くの利用があったのではないのでしょうか!!

来年は更衣室らしきスペースの確保と、下流の未利用農地をお借りして、駐車場兼キャンプサイトスペースをつくれたらな〜と思っています。(地主には相談済み)

行動を起こすことによる、魅力発信と経済活動への誘因が地域の活性化に繋がると思っています。

全てがうまくいくとは限りませんが、座して待つより活動しながら、一つでも天望が開けたらいいなと思います。何より住民が希望をもって、明るく住みよい地域づくりに参画することが重要です。

みんなできばいもそ(*、)4

【ふるさとの史跡散歩・高峯編】

おおよすみじんじや

⑭ 大山祇神社 (山神様)

祭神大山祇命 (さいじんおおやまつみのみこと)。天文念三年午年高峯の門代左衛門勧請 (おまねき) と伝えられています。

⑮ 高峯の田の神

宝暦二年 (一七五二年) 作と刻まれており、町内で七番目に古い田の神で、昔は祭りの時、家を持ち廻りされていたそうです。

⑯ 現王原 (げんのばい)

大平。現王様がここを住まいとして田畑も開かれたのでこの名があるが、その後、宮田に移住されたそうです。

⑰ 大山祇神社・観音堂

大平。高峯の神社と祭神、創建年同じ。大平屋敷作之丞勧請と伝えられています。観音堂の本尊は観世音菩薩 (かんぜおんぼさつ)、山神様と同じ境内に祀られています。

⑱ 念仏穴 (イチ山)

布教のため、人目に付かないように使われていたかくれ念仏の穴。

⑲ 屋床 (矢床・やとこ)

現王様が、住まいを決めるために放った矢が刺さったところ。ここから近い現王原にお住まいになった。

⑳ 水晶ケ段 (すいしょうがだん)

大平。上原弥右衛門という人が、毎晩水晶の夢を見るので、夢に出てくる山に登ったら鶴の模様のある水晶を発見し、殿様に献上した。その後、もきれいな水晶が出たのでこの名がついた。

編集後記

「田の神やあつむい」

私事ですが、千尋滝キャンプ場のログハウス (平川登尾) が、解体撤去することを条件に、入札に付されていたので落札し、解体して自宅畑にこずんから早3年6ヶ月。概ね組み立て完成の運びとなりました。荒廃農地の活用と遊び空間の創設になればと、暇ひまで組み立てました。基礎段階から同輩の皆様には幾度となく加勢してもらい、大変お世話になりました。いつでくつたろかいと思われていたことでしょう。やっとノン方もできるような感じになりましたので、頃合いをみて肝いりたいと思います。この館は私個人で利用するだけではなく、広く共用しようと思っています。4〜6人程度の会合やリラクスタイム (休養) にでもご利用ください。前もって連絡いただいて、空いていればいつでも遠慮なくどうぞ。

今後、「山野草の天ぶらパーティー」や「焼きタケノコの会」(いづれも仮称) など催せたらいいな〜と考えています。

田舎にはいなかの田舎しかない良さがいっぱいあります。それが田舎の強みです。そして今、その良さが見直され、求められている時代になっているのではないのでしょうか! 高度成長で失われた日本人の心・ふるさとの原風景・真の豊かさを求めて、まずは自分が楽しみながらいろいろ模索していきたいです。